

# s4 利用の手引き

## - 指導者編 -

広瀬雄二

2019年4月7日

## 1 はじめに

s4 は SNS をベースとした提出物・情報交換ツールです。講義を進めるための LMS(Learning Management System) としてが mahara や sakai などがありますが、それらは資料やレポートのスムーズな提出が主で、他の機能が追加的位置付けですが、s4 は アクティブラーニングを基本とした、グループ活動や活動記録を残したり、検索しあとで活用する機能を主体としているため、そもそもの哲学が違います。

s4 の機能を短くまとめると以下ようになります。

1. 招待制の SNS(管理者が登録しなくてもよい)
2. 個人によるブログ作成
3. 任意に作成できるグループ内での相互連絡提出物管理と連絡
4. グループ内での掲示板 (クイズ/レポート提出集計機能つき)
5. グループをさらに再分割したチームの結成
6. 新着表示
7. 全文検索

## 2 ホーム画面

### 2.1 プロフィール設定

<https://www.yatex.org/s4pr> にアクセスし、ユーザ名 (メールアドレス) とパスワードを入れログインします。ログインすると図 1 のような画面が表れます。最初にログインしたら、まずプロフィールの編集リンクに進み、必要な情報を更新します。

- ひとこと
- プロフィール画像 (書き込み時のアイコンになる)



図1 ログイン画面

の2点は更新しておくとは分かりやすくなります。学生にはそれらに加え、

- 名前(日本語 OK)
- 通知送信メールアドレス(複数可)

の項目を設定させるのが望ましいでしょう。名前には、ニックネームなど他者と区別がつく分かりやすいものに変えておくよう指示するとその後のコミュニケーションが円滑になります。また、通知先には携帯電話のアドレスを設定させ、連絡をすぐに確認できるようにするとスムーズです。

## 2.2 常駐メニュー

図1の画面上方にある緑色の5枠は、全ての画面に現れるリンクで、左から順に以下の画面に飛びます。

1. ホーム画面へ
2. ユーザの一覧画面へ
3. グループの一覧画面へ
4. 誰かに招待状を送る画面へ
5. アカウント切り替えの画面へ

よく使うのは「ホーム」と「グループ一覧」で、まだ加入していないグループに入る場合は「グループ一覧」から加入したいグループに進みます(加入方法は3節)。

## 2.3 サマリータブ

同じく図1の画面下方に並ぶタブは左から順に

1. 自分の日記一覧
2. 加入しているグループ一覧

3. 自分が書き込んだ宛先掲示板一覧
4. SNS 全体の新着情報 (読めるもののみ)

で、普段の利用では 4 番目の「新着」を選ぶことで動きのある場所にすぐ飛べます。

## 2.4 日記作成

「新規話題の作成」リンクに進むと日記を作成できます。日記目的だけでなく、他人からの書き込みで通知が届くので、連絡用に利用できます。また、あとから全文検索できるため、長期的な備忘録になります。個人日記の場合、作成画面では、

タイトル	一覧に出る日記の標題を記入
序文	日記のヘッダに出る見出しを記入

の 2 つを記入して [OK] ボタンを押します。その他の部分はグループ掲示板のときに設定します (→ 3.2 節)。

## 2.5 記事の書き込み

日記、あるいは後述するグループでの掲示板を開くとページ下部にコメント記入欄が現れます。べた打ち文章だけでなく、見出し、箇条書き、表、強調、URL リンク、ハッシュタグ (検索キーワード埋め込み) などが利用できます。詳細は 3.3(5 ページ) で説明します。

# 3 グループでの操作

科目履修者、あるいはゼミなどの集団単位をグループとしてそのメンバーで閉じた操作を行ないます。

## 3.1 グループ加入

グループのホーム画面 (図 2) に進み、

自身の加入状態を操作する

のチェックボタンをクリックすると、そのグループに参加するか否かを選べます。


参加 / 参加しない

のように、「参加」にチェックを入れ [送信] ボタンを押すことで加入できます。なお、通知先のメールアドレスはグループごとに変えることもでき、その場合はすぐ下の枠に入力することで設定できます。

グループ 練習用 このグループからの検索

グループ名(他と区別がつく名前)	練習用
一言説明	なんでもOK
種別	test
加入モード	

[グループの新規話題作成](#) / [メンバーを個別選択しての操作](#)



---

グループ全員にメッセージ送信

---

自身の加入状態を操作する(参加中)

### 話題一覧

一週間のまとめ

LINK	新着	総数	ctime	title	heading	team	通知	稼動状態
<a href="#">VIEW</a>	1	1	2019-04-06 19:24	ようこそ!	はじめての人は書き込んでくだ		admin	

図 2 グループホーム画面

## 3.2 グループ掲示板作成

グループに参加するとそのグループ固有の掲示板を作成できます。「グループの新規話題作成」リンクに進むと個人日記のときと同様の画面が出ます。タイトルと序文以外の項目がグループ掲示板では重要な意味を持ちます。

- **用途**

以下の4つから選びます

**普通の掲示板** 文章による情報のやりとりを主目的とする掲示板を作成します。

**レポート提出用 (相互に参照可能)** 書き込みや、ファイル添付を集計可能な掲示板を作成します。添付ファイルは参加者なら誰でも閲覧できます(グループ外の人は閲覧不可)。

**レポート提出用 (添付ファイルは管理者のみ参照可能)** 上と同様ですが、添付ファイルはグループの管理者のみしか開くことができません。

**クイズ (管理者以外は本人の記事のみ見える)** 普通の掲示板と同様ですが、管理者には全員の書き込みが見えますが、それ以外のメンバーは自分の書き込みしか見えません。答を内緒にしたいクイズやアンケートで利用できます。

- **コメント書き込み通知**

以下の3つから選びます

**管理者のみに通知 (グループの場合のみ)** メンバーからの書き込みがあったことを、そのグループの管理者の通知先アドレスに送信します。

**所有者全員に通知** 管理者だけでなくメンバー全員に通知します。全員に連絡したいことがあれば、この値に設定した掲示板を作成して利用します。

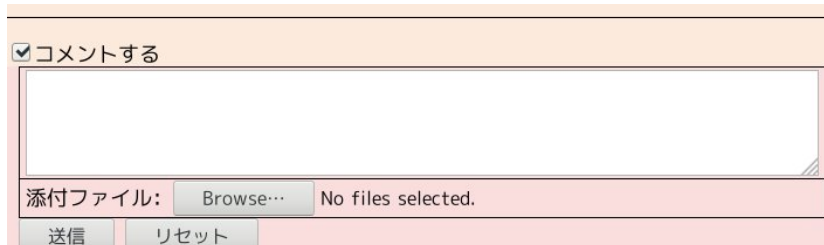


図3 コメントエリア

表1 s4 で利用できるマークダウン記法

記法	意味
##	行頭に書いて大見出しにする (# 3 個で中見出し、4 個で小見出し) 例: ## はじめに
href=URL	行頭に書いてその URL へのリンクを張る 例: href=http://www.koeki-u.ac.jp/
[[URL]]	行の任意の位置で URL へのリンクを張る 例: 大学 Web は [[http://www.koeki-u.ac.jp]] です
[[URL タイトル]]	行の任意の位置で URL へのリンクをアンカー文字列指定で張る 例: それは [[http://roy roy]] を見れば分かります
{{画像 URL}} {{画像 URL タイトル}}	画像 (別サイトの画像 URL) をその場に取り込む
* 項目 1 * 項目 2	箇条書き (行頭を * ㇿ で始める行の連続) (長い行も項目ごとに適切にインデントされる)
項目 1 項目 2...	表 (行頭を   で始めて項目を   で区切る行の連続)
項目 1 項目 2...	(項目の先頭に * を付けると見出し項目になる)
ㇿ*単語ㇿ ㇿ**単語**ㇿ	強調 (アスタリスク 2 個で、より強調)
-ㇿ[ ] または -ㇿ[ x ]	チェックボックス (x つきでチェックされているチェックボックス)

なお、後述 (3.4 節) するチームを掲示板の所有者とした場合は、グループ全員でなくそのチーム員全員に通知されます。

- **稼働状態**

以下の 2 つから選びます

**稼働** 通常モードです。

**凍結** 新規の書き込みを禁止します。提出締切を過ぎた場合や、書き込みが多くなって次の掲示板に移行したい場合に「凍結」します。

### 3.3 掲示板への書き込み

日記や、書き込みできるグループの掲示板にはコメントエリアが現れます (図 3)。文章を書き込んで [送信] ボタンで書き込みが追加されます。改行文字はそのまま反映されます。

入力エリアにマウスを合わせると、文字に特別な意味を付けるために利用できる記法(マークダウン)のヘルプが表示されます(表1)。

添付ファイルは以下のいずれかの種類の5MB以下のファイルが登録可能です。

テキスト、画像、音声、動画、OpenDocument(ODF)、PDF

ファイル名は空白を含まない英数字のものとしてください。それ以外は添付できない場合や利用者によってはダウンロードできない場合があります。また、ファイルを添付する際にはかならずコメントエリアに文章が必要で、あとで検索しやすい文章を入力するとよいでしょう。

### 3.4 チームの作成

同一グループをさらに細分した集団を「チーム」として作ることができます。

チームは結成しただけでは役立たず、それに属する掲示板を合わせて作ることで機能します。それゆえ以下の3段の手順が必要です。

1. チーム名を決めメンバーを選ぶ @ メンバー個別選択操作の画面
2. 掲示板の新規作成 @ グループの新規話題作成画面
3. 掲示板の属性変更 @ 掲示板の「編集」画面

以下、手順を説明します。

#### 3.4.1 チームの結成

操作したいグループのホーム画面を開き「メンバーを個別選択しての操作」に進みます。

から「同じチーム属性を付与」を開き、

に結成したいチーム名を入れてから、下にあるユーザー一覧からメンバーを選んでチェックし、最後にページ末尾の[送信]ボタンを押します。

#### 3.4.2 チーム用掲示板の作成

グループのホーム画面に戻り「新規話題の作成」から掲示板を作ります。このとき、「通知先」を「全員」にしておきます(通知機能を使わないならチームを組む意味が薄いため)。

#### 3.4.3 掲示板のチームへの委譲

作成した掲示板を開き、すぐに「編集」を開き、属性変更します。

この話題を以下のチームのものにする

にチェックを入れると、以下の枠が現れます。

現在の所属チーム設定: :なし
移動先チーム [なし ▼]
<input type="checkbox"/> 確認
[移動] [Reset]

移動したいチーム名を一覧から選び「確認」にもチェックを入れて [移動] をクリックします。

### 3.5 新規グループの作成

新しいグループは誰でもいつでも作れます。上部メニューから

「グループ一覧」 → 「新規グループ作成」

と進むとグループ作成画面に移行します。グループの作成者は自動的に「管理者」となります。

記入項目	注意事項
グループ名	SNS 全体で一意に定まる名前にする。検索しやすい英数字を含めておくが便利。
一言説明	グループの簡単な説明
種別	いずれかから選択:  講義関連 / 個人的リスト / 管理用 / 一時的 / 友好目的 / サークル等 / イベント用 / 記録目的 / 謎目的 / 情報交換 / サポート / 練習用
種別	以下の 2 つから選択: ・自由参加      自由に参加/脱退できる ・管理者承認制    参加手続き後管理者の承認が必要

加入モードを「管理者承認制」にすると、管理者が承認するまで加入は保留されます。また、メンバー以外の人には掲示板が読めなくなります。

## 4 FAQ

感じやすい疑問と答をまとめました。

- 非公開日記は書みますか

日記は全て「公開」です。基本的に SNS には公にしてよいものを書き込むのが筋

です。あまりおっぴらにする必要のないものがあれば、「管理者承認制」のグループを作り、そこに書き込んでください。ただし、加入している他者にはコピーすることができるため、やはり極秘のものは SNS には書かず、胸のうちにしまっておく必要があります。

- **ダイレクトメッセージは送れますか**

「つながり」のないユーザには送れません。つながりは同一グループに加入することで得られます。共通で所属するグループのホームから「メンバーを個別選択しての操作」に進むと、メンバー一覧が出るので、送信したい相手にチェックを入れてから「メッセージ送信」タブを開くとコメント入力できます。最後に [送信] でダイレクトメッセージとなります。ただしこれは SNS 上ではなく、電子メールとして送られるので今後のやりとりはメールベースとなり、かつ相互にメールアドレスが開示されることとなります。

- **既読通知機能はありますか**

ありません。実装予定もありません。というのも、利用者である学生にその機能の必要性を問うたら皆口を揃えて「絶対に入れないでください」と訴えました。現実問題として、相手が「しっかり読んだこと」は保証できないできないいっぽう、「既読」と通知された方はそれを期待するため、既読確認機能は期待相反に起因するトラブルを生みやすく、インターネットの伝統的なメールシステムでは実装しないことがよしとされて来ましたが、LINE がパンドラの箱を開けました。

ただし、利用者がそもそも「s4 画面を開いているか」は活動状況把握には重要なため、最終ログイン時刻だけは相手のホーム画面に表示されるようにしてあります。

## 参考文献

- [1] 広瀬雄二. 超小型 SNS 「s4」による教育用情報システム導入過程の効率化. 東北公益文科大学研究論集 33 p.35-55.